

大規模IoTシステムへの対応機能強化 ～センサー1台でも100万台でも～

Point 1

多くの情報を一度に見れる



ダッシュボード強化

- 複数のグラフやメッセージを自由に配置できるレイアウト機能実装
- 表現力豊かなオリジナルダッシュボードを柔軟に作ることができる



Point 2

多くのセンサー、ゲートウェイ、ユーザーを管理しやすくなる



管理メニュー統合

- 管理メニューを統合し、センサーの追加や変更を効率的に対応できる
- 生産技術部や経営層等、目的別に閲覧者グループを作成



Point 3

一度に大量のゲートウェイ、センサーの登録が可能に



センサー管理機能

- ゲートウェイやセンサーの一括アップロード及びダウンロードに対応
- 扱うセンサーが数万台に拡大しても、運用対応が可能



Point 4

利用状況のタイムリーな把握が可能に



運用管理機能の強化

- 最新のデータ登録日時や、毎月のデータ登録数等、利用アカウントの利用状況を参照
- 運用監視の機能も追加予定



Point 5

大量多様なセンサーデータをリアルタイム加工・仮想センサー化



センサーデータ・ストリームプロセッシング(SDSP)

- 流れてくる大量のセンサー情報をリアルタイムで加工処理できるセンサーデータ・ストリームプロセッシング(SDSP)に正式対応。
- 「仮想センサー」を簡単に作成可能

